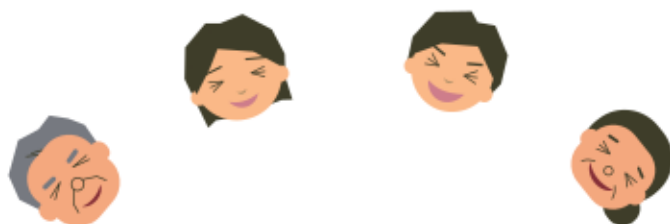


BCP（事業継続計画）のことがよくわかる・BCPが作れる



川崎市内企業・事業所のための **BCP作成のススメ**

はじめに

突然の災害や事故に見舞われたとき、あなたの会社は従業員を守れますか？
会社の操業が停止しても速やかに復旧し、お客様の信頼を守れますか？

少しの努力が、いざという時にあなたの会社を救うかも知れません。
いつまでも安定して事業を続けるために、この冊子を活用して、
あなたの会社だけのBCPを作成してみましょう。



ぼくソナエル君です。

目次

CHAPTER 1	身の回りの危機を知る.....	P 2
CHAPTER 2	あなたの会社の危機を知る.....	P 3
CHAPTER 3	BCP(事業継続計画)を知る.....	P 4
CHAPTER 4	BCP 作成のメリットを知る.....	P 5
CHAPTER 5	BCP を作成しよう ①.....	P 6
CHAPTER 6	BCP を作成しよう ②.....	P 7
CHAPTER 7	BCP を作成しよう ③.....	P 8
CHAPTER 8	BCP を《使える》ものにする ①.....	P 9
CHAPTER 9	BCP を《使える》ものにする ②.....	P 10
CHAPTER 10	《穴埋め式》BCP 作成チャート.....	P 11
CHAPTER 11	川崎市の災害情報を得る.....	P 13
CHAPTER 12	川崎市のBCP 作成支援メニュー.....	P 14

CHAPTER 1 身の回りの危機を知る

はじめに想像してみてください。

今あなたの身の回りに「危機」があるとしたら…？

それは一体どういう事態なのでしょう。

地震



火災



津波

事故 テロ



停電



物流途絶



情報漏えい
PCウイルス感染

新型インフルエンザ



がけ崩れ

洪水



考えてみると、
世の中には実に
色々な危機がある
んだねえ…。

このように、私たちの周りには自然災害に限らず
実に多くの「危機」があることがわかります。



社長

CHAPTER 2 あなたの会社の危機を知る

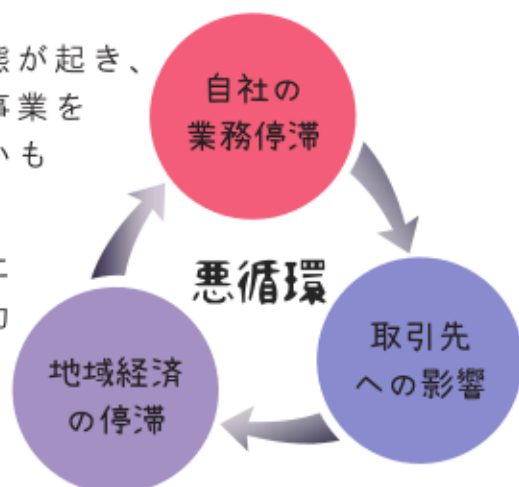
では、こうした「危機」に見舞われたときに、あなたの会社には一体どのような非常事態が起きるのでしょうか？

危機発生時に想定される、会社の非常事態（例）



危機によってあなたの会社に非常事態が起き、十分な対応が出来ないことで、早期に事業を復旧できず、会社の存続を危うくするかも知れません。

そればかりか、あなたの会社の停滞によって、取引先や地域の経済全体の活力低下を生み、それが再びあなたの会社に影響してしまうかも知れません。



BCP が自分の会社や地域を救う

こうした状況を避けるため、いま多くの会社でBCP（事業継続計画）を作成し、様々な危機に対応することが求められています。

よし、まずはBCPを理解してみるか…

《次ページ以降、まず「BCPとは何か」について詳しく説明します》

CHAPTER 3 BCP(事業継続計画)を知る

BCPを作成するにはまず、BCPを理解することが必要です。

ここではまず「BCPとは何か」や、「防災計画との違い」を知ることで、BCPの重要性について認識を深めていきます。

BCP(事業継続計画)とは

BCPとは、会社が災害等により被災したときでも損害を最小限にとどめ、重要事業の継続や企業の早期復旧を果たすため、災害発生時だけでなく、平常時に行うべき行動や方法などを定めたものです。

Business Continuity Planの頭文字を取り、BCPと呼ばれています。

防災計画との違いを知る

一般的な防災計画とBCPとの違いがわかれば、BCPの必要性をより深く理解することができます。

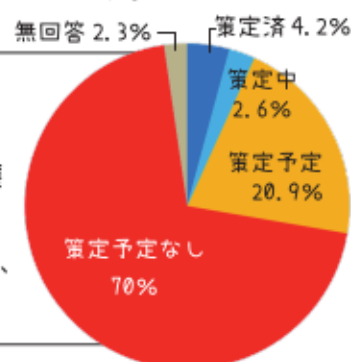
そこで、防災計画とBCPとの違いについて下表にまとめました。

	計画の範囲	計画の目的	被害の確認	対応期間	連携
防災計画	発生直後の緊急対応が中心	人や物の被害の軽減	被害全体の調査と対応	復旧期間は「なるべく早く」	それぞれの事業所に対応
BCP	事前の対策と事後の復旧活動が対象	事業の継続や顧客の信頼確保	事業継続に必要な箇所の被害調査と対応	設定した目標期間内の復旧	他企業や地域との連携

上の表から、BCPが災害への初期対応だけでなく、被災時の事業継続や早期復旧も視野に入れた、広範囲な防災計画であることがわかります。

■県内中小企業のBCP策定状況（参考情報）

「神奈川県内の中小企業における事業継続計画（BCP）実態調査」（H24.1）によると、神奈川県内でBCPを策定している中小企業は4.2%となっており、策定中（2.6%）と合わせても、わずか6.8%に留まっています。



CHAPTER 4 BCP 作成のメリットを知る

それでは、BCPを作成することで、あなたの会社にはどのようなメリットがあるのでしょうか。

メリットがないと作る意味がないよな。



メリット 1 非常事態から事業を早期に再建できる

BCPがあれば、被害状況の把握を迅速に行い、従業員の安全を確保することがスムーズに行えます。

また安全を確保した後の復旧作業やサポート体制の指示、情報の収集・発信によって、早期の事業再建を実現★することにつながります。



何から手をつけるべき？

誰に何を頼めばいい？

連絡先は？

お手上げだあ

BCPを策定していないために復旧が遅れ、後の会社の信用を落としてしまう可能性も...

メリット 2 災害対応だけでなく、健全経営の助けにもなる

BCPの作成・運用を行うことは、会社の経営実態の把握や経営管理の再確認に繋がり、取引先からの信用を高めることにもなります。

つまりBCPを「災害時に必要となる特別なもの」とは考えず、日ごろの経営管理・改善の「見える化」と捉え、「作成すれば会社の競争力の強化になる」という気持ちで取り組むことが大切です



こりゃ他人事じゃないな...

BCP 中小企業の経営

事業承継

投資・資金調達

雇用・人材育成

ITの活用

経営革新

販路開拓

税制対応

《次ページから、実際にBCPを作成するうえでのポイントを説明します》

CHAPTER 5 BCP を作成しよう ①

BCPを実際に作成する際のポイントを、手順に応じて説明します。

なお、作成にあたっては、災害時に実行出来そうな「身の丈に合った計画」となるよう心がけます。

ポイント 1 想定される被害状況を確認する

BCPは様々な危機により会社に関わりうる最悪の事態を想定※し、そこからの事業継続を考えることが必要です。

※ 地震に関する想定にあたっては、川崎市の地震被害想定調査等（13 ページ参照）を活用し、市内の被害についてあらかじめイメージすることができます。

ポイント 2 会社としての基本方針を定める

最悪の事態が想定できたら、次に会社の基本方針を定めます。

この基本方針は、会社の経営方針の延長にあるものです。

具体的には「会社は何のためにBCPを策定するのか?」「BCPを作成・運用することによってどんな意味合いがあるのか?」等の検討を行います。

従業員の
雇用や安全を守る
人命を守る
会社を存続
させる
顧客からの
信用を守る
地域経済の
活力を守る



■川崎市役所のBCP（川崎市業務継続計画）のご紹介

川崎市役所でも、夜間や休日などに大地震が発生し、多くの職員が参集出来ない状況下であっても、行政が行うべき災害対応業務や、災害時であっても休止することの出来ない通常業務を円滑に実施できるよう、平成23年にBCPを策定しました。

また、BCPが正しく運用できるよう、定期的に訓練を実施するとともに、必要に応じて修正なども行っています。



CHAPTER 6 BCP を作成しよう ②

ポイント3 災害時の重要業務を検討する

災害発生時には、限られた従業員や資機材で事業を継続し、定めた基本方針を実現することになります。

そのために、すべての業務を行おうとするのではなく、あらかじめ最低限行すべき重要な業務を決め、確実に実施することが必要となります。

ある会社の重要業務のリスト（例）

優先順位	業務	収益性	重要度	地域貢献度	復旧目標
1	地域支援	低	中	高	3日以内
2	受注中の業務への対応	中	高	低	6日以内
3	営業活動の再開	高	低	中	20日以内
...		...	...	...	...

上図の会社の場合、基本方針の選定にあたっては「地域への影響＝会社の社会的な役割」を重視して選定しています（実例については「川崎市内企業・事業所による防災対策への取組事例集」をご覧ください）。

一方、災害時の優先業務は会社ごとに異なります。このため、会社によっては選定がなかなか進まないかも知れません。

そのような場合には、例えば以下の観点がヒントになるかもしれません。

- 会社の操業が停止することで、売上に大きな影響がある事業は何か。
- 顧客への影響が大きい事業や、地域への影響が大きい事業は何か。
- 市場のシェアや重要な顧客を抱えている事業は何か。
- 延期可能な期間はどれくらいか。

あれこれ
無理するのは
やめておこう



上記を参考に選定を行ってみてはいかがでしょうか。

CHAPTER 7 BCP を作成しよう ③

ポイント4 事前対策を検討する

重要業務を定めたら、非常時でも業務を円滑に実施できるよう、実施を困難にする「課題」に対して、事前の対策を進めることが必要です。

BCPの円滑な実施に向けた事前対策（例）

	実施にあたっての課題	事前対策
人	災害時に従業員の安否がわからない。連絡が取れない。	安否確認ルール（システム）を検討する。それまでは災害用伝言ダイヤル171を活用した運用とする。
	重要業務の実施の可否が、特定の従業員に依存している。	重要業務をこなせる従業員を複数育成する。 重要業務の実施マニュアルを整備する。
物	設備が転倒した場合、設備の損傷やケガ人が出る恐れがある。	設備の転倒防止対策を行う。
	本社が機能しなくなった場合、業務が完全に停止してしまう。	代替の方法を確保し、最低限の業務継続が出来るようにする。
情報	サーバが損傷した場合、重要データがすべて失われる。	外部ミラーサーバを置くなど、重要なデータの適切な保管を行う。
	災害発生時に、市内の被災状況がわからず混乱してしまう。	「メールニュースかわさき」など、行政からの情報を全従業員が受信できるようにする。
金	復旧までの間に、運転資金がショートする危険性がある。	緊急時に必要な資金を把握し、必要に応じて現金や預金の準備をしておく。

なお、この事前対策の検討にあたっては「金融機関と良好な関係にある＝強み」や「顧客管理簿が整理できていない＝弱み」など、日頃から把握している会社の「強み」や「弱み」を踏まえて検討するとよいでしょう。

ポイント5 緊急時の体制を整備する

最後に、非常時に重要な意思決定や指揮・命令を行う統括責任者を決めておきましょう。

加えて、統括責任者が不在の時（または被災した時）を考え、代理の責任者も決めておきましょう。



CHAPTER 8 BCPを《使える》ものにする①

BCPは作成することがゴールではありません。

いざ緊急事態となった時に、すべての従業員がBCPの内容を正しく理解し、必要な対応を迅速に行えるよう、下記のような観点を持って、常に計画を改善していく必要があります。



ステップ1 BCPを定着させる

いざ緊急事態になった時に従業員が主体的にBCPを活用し、適切な対応ができるよう、以下のような社内教育を継続して実施しましょう。

- 従業員に対し、定期的にBCPの進捗状況や問題点を説明する。
- 従業員各自でBCPの取組状況、役割分担を定期的に確認する。
- 策定したBCPのポイントに関する社内研修会を開催する。

ステップ2 BCPを改善・見直しをする

BCPは、日ごろから会社で行っている経営管理の延長にあるものです。

このため「顧客状況や在庫状況などに大幅な変更があった」、「商品・サービスに変更・追加、生産ラインの組み替えが生じた」、「人事異動などがあった」等の場合には、その都度BCPの見直しを行いましょう。

また、BCPで実施を予定している事前対策の進捗状況やその問題点を定期的にチェックし、対策の内容や実施時期を再検討することも必要です。

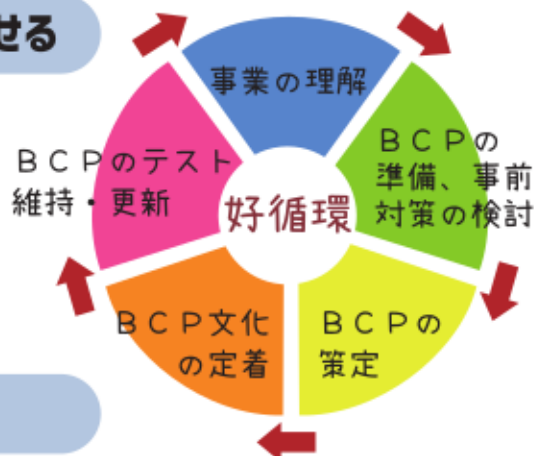
ステップ3 BCPをテストする

最初から完璧なBCPを作ることは不可能と考えましょう。訓練等を行いながら、策定したBCPを継続的に改善していくことが大切です。

CHAPTER 9 BCP を《使える》ものにする ②

ステップ4 PDCA により質を向上させる

BCPの策定や普及促進を中心とした、PDCAサイクル（右図）を社内で回すことにより、段階的にBCPの質を向上させましょう。



ステップ5 BCP にみんなで取り組む

BCPを個々の会社で取り組むだけに留まらず、業種組合、工業団地や商店街などの団体、地域単位で取り組むことで、問題意識の共有、連携の強化、運用の効率化など相乗効果が期待されます。

《コラム》ご存知ですか。川崎市防災協力事業所のこと。

- 大災害が発生したときに、企業が地域の一員として持てる力を提供し共に立ち向かうことで、災害からの復興は早まります。
- 川崎市では「川崎市防災協力事業所制度」を設け、災害時に地域でボランティア活動を行っていただける企業を募り、賛同いただいた企業を地域に紹介する仕組みを作っています。
- 登録をキッカケに、災害時のみならず平常時から地域との関係を深め、地域から一層愛される企業になりませんか。



このステッカーが目印です

《登録の流れ》

- STEP1 市のHPから申請書をダウンロードし、必要事項を記入のうえ、川崎市総務企画局危機管理室窓口（川崎市役所第3庁舎7階）に提出する。
- STEP2 申請受理・審査（1ヶ月程度）後に登録証とステッカーが発行される。
- STEP3 登録いただいた企業のリストは川崎市HPに掲載するほか、各区の自主防災組織などにもご紹介します。

- 詳しくは川崎市のHPから **防災協力事業所** で検索してください。

経過	川崎市の状況	① このとき、あなたの会社はどうなる
地震発生	・ 冬のある平日の午後、突然、川崎市内全域に震度6強の地震が起きた。 ・ 市内では約200件の火災が発生、20000棟の建物が倒壊し、あなたの会社の周辺でも多くの家屋が倒壊し、遠くには火の手があがっている。	
数時間	・ 余震は断続的に発生している。 ・ ライフライン（電気・ガス・上下水道）は完全にストップ、公共交通機関もすべて運休となっていた。 ・ 一般電話や携帯電話、インターネットもほとんど繋がらない状態に。	
半日	・ 避難所には多くの人が殺到している。 ・ 負傷者の搬送が間に合わず、多くの人が自力で病院に向かっている。 ・ また各所で道路が破損しており、あなたの会社の前の道路も大渋滞し、多くの人で溢れている。	
1日	・ 避難所には人が溢れ、食べ物や飲料水が枯渇している。 ・ 市内の各所で、消防や警察、自衛隊による救出活動が行われている。 ・ 道路公園センターが大きな道路の修理を始めている。	
数日	・ 火災はほぼなくなった。 ・ 上下水道局による応急給水も本格化したほか、ごみ収集車の巡回も始まった。 ・ 避難所には物資が供給される、あと数日すれば、多くの地域で電気が復旧する見込みだ。	
2週間	・ ライフラインは概ね復旧してきた。 ・ 避難所にはボランティアが入るようになったほか、避難者への市営住宅の空き室の提供や、仮設住宅建設の準備も始まっていた。 ・ 罹災証明の発行がもうすぐ始まる。	

BCP作成の足がかりとして、簡単なチャートをご用意しました。

与えられた想定に基き、事業所が置かれる状況や必要な対応を記入してみましょう。

② ③に対する会社（あなた）の対応	①や②に際しての課題

CHAPTER 11 川崎市の災害情報を得る

川崎市が提供する防災に関する様々な情報のうち、BCPの作成にあたって関係する情報をご紹介しますので、是非ご活用ください。

メールニュースかわさき

ご登録いただいたメールアドレスに市内の防災、気象、災害等に関する情報を配信しています。

配信希望の方は下記アドレス宛に空メールを送信してください。

【メールアドレス】 t-kawasaki@sg-p.jp

ご利用上の注意

- ・情報配信料は無料ですが、通信費（パケット料）は本サービス登録者の負担になります。
- ・ドメイン指定受信等の迷惑メール対策をしている場合、このサービスが利用できない場合があります。

「kawasaki@sg-p.jp」及び「t-kawasaki@sg-p.jp」が受信できるよう設定の確認をお願いいたします。



川崎市危機管理室ツイッター

市内の防災、気象、災害等に関する情報をツイートしています。
ご利用の際は下記のアカウントをフォローしてください。

【アカウント】 [kawasaki_bousai](https://twitter.com/kawasaki_bousai)

【URL】 http://twitter.com/kawasaki_bousai



ガイドマップかわさき

AEDや消火栓の位置、避難所や応急給水拠点の場所のほか、土砂災害ハザードマップや洪水ハザードマップ、浸水実績図など、防災に関する様々な地図情報を知ることができます。

【URL】 <http://kawasaki.geocloud.jp/webgis/?p=1>



川崎市地震被害想定調査

川崎市域に最も大きな被害を及ぼす川崎市直下の地震（マグニチュード7.3）による被害想定調査の結果を公表しています。

【URL】 <http://www.city.kawasaki.jp/160/page/0000017669.html>



CHAPTER 12 川崎市のBCP作成支援メニュー

川崎市産業振興財団では、BCP作成支援を行っています。

BCP作成にあたって不安な場合や、専門家のアドバイスのもとで短期間に適切なBCPを作成したい場合など、下記の制度を是非ご活用ください。

専門家の派遣（事業所様への適切な指導・助言を行います）

【派遣内容】原則として1企業あたり半日（3時間）を単位に12回まで

【対 象】次の2つの条件を満たす方

- ①川崎市内であって、経営革新に意欲がある中小企業者及び企業家
- ②前年度、当該専門家派遣事業を活用していないこと

【費用負担】半日 14,285 円（税抜）／1回

ワンデイ・コンサルティング（登録専門家を無料で訪問派遣します）

【派遣内容】派遣は1回2時間程度（最大3回まで）

【対 象】川崎市内に事業所がある中小企業者または川崎市内で創業計画をお持ちの方で、次のいずれかに該当する方

- ①中小企業者及び商店街または工業団体等の中小企業団体
- ②その他、これに準ずるもの

なお、これらのメニューを活用したいときは、下記までご連絡ください。

お問い合わせは（公財）川崎市産業振興財団 中小企業サポートセンターまで

電 話 044-548-4159 F A X 044-548-4151

E mail oneday@kawasaki-net.ne.jp

U R L <https://www.kawasaki-net.ne.jp/>



Colors, Future!

いろいろって、未来。

川崎市

川崎市内企業・事業所のための BCP 作成のススメ（2019 年 3 月発行）

【監修】川崎市防災協力連絡会

【企画・編集】川崎市総務企画局危機管理室

【住所】〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1番地

【電話】044(200)2894